

DEPARTMENT OF INFECTIOUS DISEASE

後期研修医（専攻医）募集

東京医科大学病院 感染制御部・感染症科は来年度のスタッフ・内科専攻医を募集しています。

特徴

01

大学病院で
ベッドを持つ
感染症科

02

感染症科で
内科専門医の
取得が可能

03

大学院入学、
博士号の取得が
可能

初期研修が終了後の卒後3年目から、既に専門医を取得後の医師で感染症を目指したい中堅以上のスタッフまで幅広く募集しています。職位は各々の経験年数に応じたポストを準備します。

育児中の時短勤務や、1ヶ月～数か月などの短期研修も受け入れ可能です。男性医師の育児休暇も取得可能です。

この3年で計11名入局中！

今勢いに乗っている国内最大級の感染症科であなたも学びませんか？

かつてないほど感染症医が求められる今、「将来は感染症を専門にしたい！」、

「サブスペシャリティとして感染症の知識が欲しい！」、そんなあなたをお待ちしています。

① 大学病院でベッドを持つ感染症科

細菌感染症、HIV、性感染症、ウイルス感染症、抗酸菌感染症、輸入感染症、寄生虫疾患など多岐に渡った疾患を主治医として担当できます。新型コロナウイルス感染症に対しては院内でリーダーシップを発揮しながら、現在も主治医として診療にあたっています。院内の血液培養陽性例は全例介入しており、主科と合わせて常時 50-70 症例について数チームで分割し、診療を行っています。介入症例についても抗菌薬を選択するだけでなく内科系・外科系を問わずに病態の把握、問題点のディスカッションなど深い介入を行っています。救命救急科・ICU とも綿密に連携し、重症患者さんの診療も積極的に当たっています。整形外科とは混合診療チームを組んでおり、椎体感染症を中心に日本有数の症例数を担当します。

② 感染症科で内科専門医の取得が可能

初期臨床研修終了後は感染症科に所属しながら、日本内科学会内科専門医プログラムに登録可能です。当院を主体として感染症に加え内科系の総合研修を行い、内科専門医を取得します。新内科専門医では1年の地域研修が義務付けられておりますが、分院や関連病院以外についても希望の施設を一人一人に合わせて調整致します。感染症科で内科専門医が取得可能な施設は多くありません。指導医も多く在籍するため内科専門医を取得するうえで不可欠な J-OSLER の病歴要約も心配いらず、綿密な指導を保証します。内科専門医を取得後に所定の研修年数を勤務すれば感染症専門医の取得も可能で、当科には感染症専門医が合計8名在籍しています。

③ 大学院入学、博士号の取得が可能

臨床で直面した research question から、博士論文を執筆します。基礎医学的な実験や考察も可能ですし、また公衆衛生学的アプローチの実績もあります。実現すれば臨床、外勤を続けながら給与面の負担なく社会人大学院生として研究に携わり、学位取得することができ、これは大学付属病院の大きなメリットです。

④ 研究・論文執筆 論文の執筆、学会への参加

これらについては科を挙げて取り組んでいます。特に論文作成に関してはテーマの選択、研究のプラン、投稿に至るまで親身に相談に乗り、当科のスタッフはいずれも各個人の興味、研究対象に沿った論文執筆を行っています。これまでも国際雑誌に多数の原著論文、レビュー、症例報告、レターなどが掲載されており、臨床感染症から世界への情報発信は日本有数と自負しています。これまでに MRSA や多剤耐性グラム陰性桿菌 (MDRP, NDM-1 など) の基礎解析・臨床像、CV-CRBSI や PV-CRBSI の医療関連感染症の臨床像・コスト分析、レジオネラや水回りの感染対策、ノカルジア感染症やらせん菌感染症など珍しい疾患の臨床像、COVID 関連など研究テーマは多様です。

近年の新しい取り組みとして当院公衆衛生学分野と共同で若手のための疫学セミナーを開催するなど、臨床だけでなく学問的な面でもより研鑽を積める機会を設けています。

当科のこれまでの実績については HP の業績集よりご覧いただけます。

⑤ 医学教育

当科は医学部学生の授業や初期研修医向けのレクチャーも担当し、こういった教育の機会が多いのも大学附属病院の特徴です。2021 年からは医学部 6 年性に感染症シミュレーションコースをスタートしました。また初期研修医のローテーションは年間 30-40 名に上ります。研修医用のランチョンセミナーデータや抗菌薬のスペクトラム表、抗菌薬投与量の早見表は web 上にアップされ、多くの方が閲覧・ダウンロードしている様です。

新型コロナウイルス感染症の流行も相まって感染症教育の重要性はより増していくと考えられます。後輩を教育することで、自身の感染症医としての成長にもつなげます。

⑥ 院内感染対策の専門家育成

当部門は感染制御部が先に発足し、感染症科の立ち上げに繋がっています。そのため、標準予防策や経路別予防策、薬剤耐性菌対策、抗菌薬適正使用、コロナ対策など、ありとあらゆる院内感染対策の専門部署でもあります。感染症の臨床だけでなく、院内感染対策の専門家育成にも取り組んでいます。同じ部屋内には、専従の感染管理認定看護師と専従薬剤師もあり、多職種での業務も特徴です。

⑦ 個人のキャリアプランの尊重

将来のキャリア感染症専門医を目指す方、総合内科や救命救急を主軸に感染症をサブスペシャリティに選択したい方、院内感染対策の専門家、留学を目指す方など個人のキャリアプランに沿った研修、専門医習得への準備を提案します。当科のスタッフには後期研修医で感染症専門医を目指すもの、感染症が専門の総合内科医を目指すもの、出産・育児を契機に仕事、子育てもいずれもあきらめない働き方を目指すもの、など多様な背景があります。育休の取得も積極的に奨励しています。海外留学・海外研修では Liverpool school of Tropical Medicine や Imperial college London、Mahidol University などの実績があります。あなたはどのような働き方やキャリアアップをしたいでしょうか？個人の希望の尊重は当科のモットーです。大学付属病院という大きな組織の中にあっても、個人に合わせたフレキシブルなキャリア形成の支援をお約束します。

⑧ 自信をもっておすすめできる当科のポイント



仕事には真剣に取り組めますが、アットホームで和やかな雰囲気があります。診療時に不安を感じる場面、判断に迷う場面にあなたをひとりにさせません。仕事でもプライベートでも、悩みがあるときにすぐに相談できる仲間でありたいと思うスタッフがたくさんいます。常に患者さんに寄り添うということを意識した診療をしています。

医師だけでなく看護師, 薬剤師, 検査技師, 事務さんまで多職種で医療を行っています。

当科の具体的な業務内容

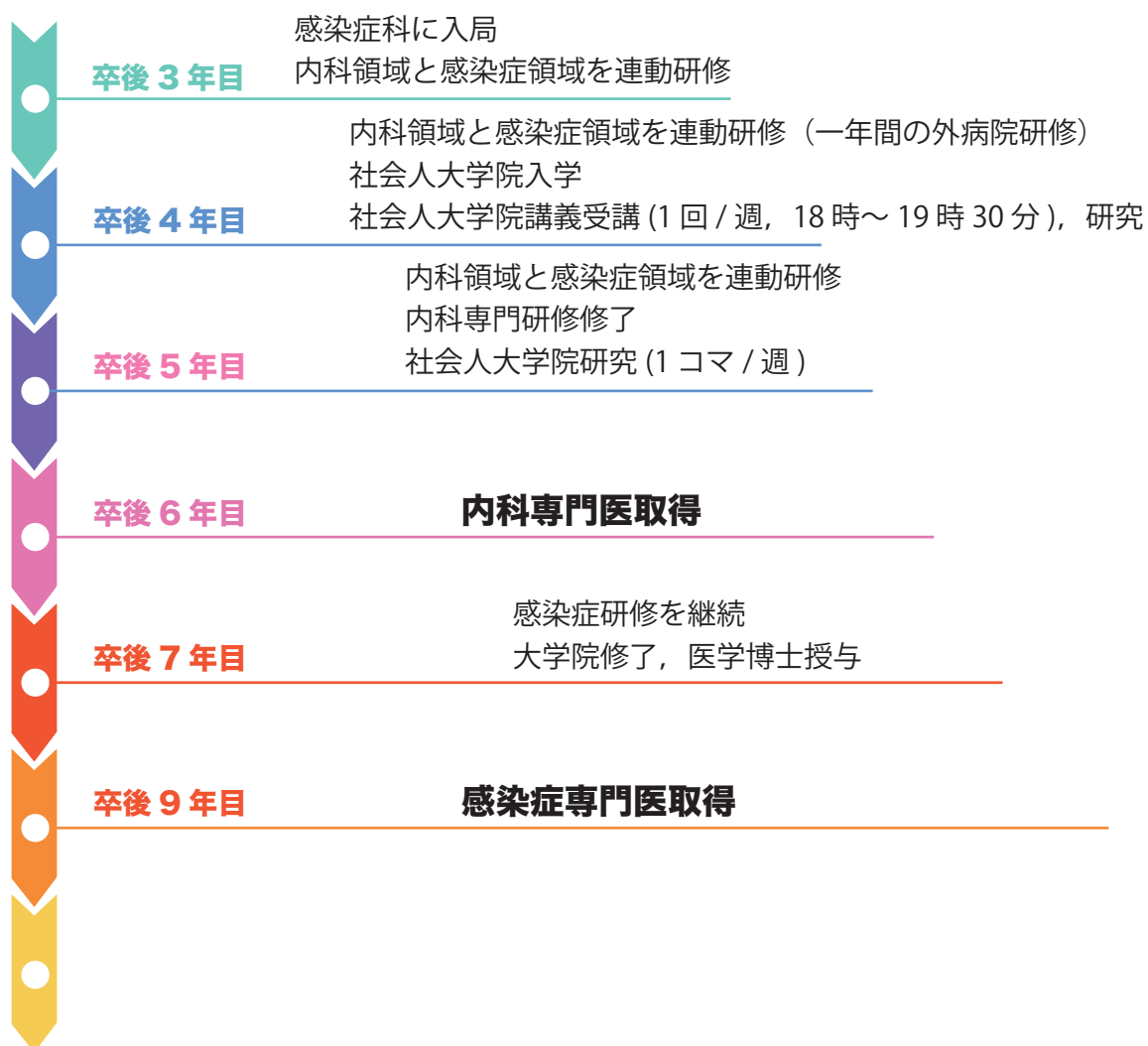
- ① 主科としての入院・外来診療：一般感染症, 熱帯感染症, HIV 感染症, STI, 抗酸菌感染症など様々
- ② 他科からのコンサルテーション：内科系外科系問わず多数 (新規 1～5 件程度 / 日)
- ③ 血液培養陽性例の全例介入：主科と相談しながら治療方針を確認していきます (新規 1～5 件程度 / 日)
- ④ ICU カンファレンス：ICU 患者の感染症診療・コンサルト (毎日)
- ⑤ 救命感染カンファレンス：救命救急センターとの合同カンファレンス (毎週火曜日)
- ⑥ COVID-19 病棟カンファレンス：COVID-19 入院症例について病棟、主科と方針の確認 (毎日)
- ⑦ 感染制御：ICT としての活動 (1 回 / 週の ICT ラウンド, アウトブレイク対応等)
- ⑧ 研修医教育：毎月 2～4 人程度ラウンドしてくる初期研修医への教育・指導
- ⑨ 医学部学生教育：講義、シミュレーションコースのファシリテーターなど
- ⑩ 院内感染対策の講義, 感染対策シミュレーションコースインストラクター

新専門医制度に関して

現状(2021年5月時点)では、感染症専門医制度は内科系サブスペシャリティ領域として認定されており、感染症専門医取得のためには基本領域である内科専門医の取得が必要です。従って後期研修医(専攻医)の先生は、原則として『東京医科大学病院内科専門研修プログラム』に登録頂き、内科専門研修を行って頂くことになります。ただし、現状では内科領域とサブスペシャリティ領域を並行して研修を行う、いわゆる「連動研修」が認められているため、3年目より当科に所属し感染症領域の研修を行うことが可能です。内科専門医取得に必要な症例数が足りない場合、適宜他科へのローテーションを調整することもできます。

感染症専門医取得の要件として内科専門医取得後に更に3年所定の期間で経験を積む必要があり、最短では医師9年目に感染症専門医を取得することとなります。しかしながら、連動研修の可否をはじめとして未だに新専門医制度に係る状況は流動的で不透明であるため、今後方針が変更される可能性があることをご了承頂きたく存じます。ご質問などあれば、当院の内科専門研修プログラム担当者に尋ねることも可能ですので、後述の連絡先へお気軽にご連絡ください。

当科でのモデルキャリアケース



スケジュール

08:00	出勤
	病棟回診 主科入院患者への全スタッフでの回診
08:30	その日の検査・治療方針の確認
	朝礼 朝カンファレンス
09:00	全スタッフでの確認事項共有 担当患者の新規イベント・経過報告
	病棟業務 主科入院患者対応
09:30	新規血液培養陽性者・新規コンサルテーション対応
	10:00 微生物検査室ミーティング
10:00	各種培養結果・途中経過問合せ, 新規耐性菌検出者確認
	10:45 COVID-19 カンファレンス
10:45	
	12:00 昼食
12:00	
	病棟業務 主科入院患者対応
13:00	新規血液培養陽性者・新規コンサルテーション対応
	16:00 タカンファレンス チームごとに方針の確認・相談
16:00	
	16:30 初期研修医教育 感染症に関するレクチャーなど
16:30	
	17:00 デスクワーク 論文作成, 資料作成, 自己学習など
17:00	
	18:00 帰宅

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
AM	病棟業務	病棟業務	外勤	病棟業務	病棟業務	病棟業務 (奇数週のみ)	休み
PM	病棟業務 + 抄読会	病棟業務 救命 カンファ 学生講義	病棟業務 研修医向け 講義	外勤	病棟業務 ウィー クリー カンファ	休み	休み



最後に

知識・技術の習得に手を抜きませんが、それは患者さんのためになるだろうか？
仲間のためになるだろうか？という疑問を常に持ち続ける医師を我々は目指します。
私もここで働くことはできる？このような希望があるけど受け入れもらえるだろうか？
と心配されている方もぜひ一度ご連絡ください。一緒に考えましょう。

医局員募集

卒後6年目以降の医師で、当科スタッフとして助教もしくは臨床研究医として働ける医師を随時募集しています。感染症診療トレーニングをすでに受けられた方、他科の後期研修を修了しているが改めて感染症を専門にしたい方、ICDとして感染制御に携わりたい、等それぞれのニーズに合わせられるようにご相談にのります。それぞれの家庭状況や人生プランに応じた調整も検討可能です。

短期研修 (数か月～ 1年程度)

「他院で勤務しているが、自分の病院には感染症科がない！」
「総合診療医としてすでに働いているけど、感染症を勉強しなおしたい！」
「すでに感染症以外の専門医を持っているけど、短期で研修したい！」
等のニーズにも個別に相談にのります。卒後何年目でも構いません。

過去当科に所属・研修した医師の出身校

旭川医科大学、杏林大学、近畿大学、高知大学、埼玉医科大学、佐賀大学、産業医科大学、聖マリアンナ医科大学、
東京大学、東京医科大学、東京医科歯科大学、東京慈恵会医科大学、東京女子医科大学、東海大学、長崎大学、
宮崎大学、九州大学、日本医科大学、福島県立医科大学、藤田保健衛生大学、防衛医科大学校、横浜市立大学…

CONTACT

見学も随時受け付けています。まずは下記メールアドレスまでお気軽にお問合せください。

医局長 中村 造 (なかむら いたる) task300@tokyo-med.ac.jp

東京医科大学感染制御部ホームページ

<https://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/shinryo/kansen/>

東京医科大学感染症科ホームページ

<https://hospinfo.tokyo-med.ac.jp/shinryo/kansensho/index.html>

東京医科大学病院感染制御部・感染症科 Facebook 主にまじめな内容を投稿します。

<https://www.facebook.com/kansen.tokyo.med/>

東京医科大学病院感染症科・感染制御部 twitter ゆるく日常をつぶやいています。

アカウントは [@toui_kansen](https://twitter.com/toui_kansen)

東京医科大学病院感染症科公式 Instagram たまに真面目な投稿もあります。

アカウントは [toui_kansen](https://www.instagram.com/toui_kansen)